

緊急開催!!

学校で憲法を語るつどい

にわかにはクローズアップされた改憲論議。教師の中にもさまざまな意見があります。「何か声をあげねば」の声とともに、「学校で憲法の話をもどどのようにしていいのかわからない」とのとまどいも聞こえます。

従来から、私たち民間教育サークル会員はたえず「憲法」を語ってきました。今夏の各全国大会においても、憲法をどう学校や地域の各場面に活かすかという実践課題について、旺盛な議論が行われます。それとともに、私たちが依拠する憲法の性格自体が「一気呵成（いっきかせい）」に変えられようとしているいま、どんな憲法、すなわちどんな国・社会を選択するのかという、明日の主権者たる子どもたちとともに考えるべき共通の市民的課題について、直接論じる場を設定したいと考えました。

学校で憲法をどう語りあうのか。どう教育のテーマとして位置づけるのか。サークルの枠を超え広く呼びかけ、皆でともに考える場としたいと思います。



☆開催日時☆ 2013年8月5日(月) 17:00~19:30

☆開催場所☆ 京都テルサ (JR京都駅より徒歩15分) 会議室 (定員72名)

●JR京都駅(八条口西口)より南へ徒歩約

15分

●近鉄東寺駅より東へ徒歩約5分

●地下鉄九条駅4番出口より西へ徒歩約5分

●市バス九条車庫南へすぐ

●名神京都市南インターより国道1号北行き
市内方面へ 九条通を東へ、九条新町
交差点を南へ



☆参加費☆ (近日決定)

※会場定員と資料作成の都合上、

参加申し込みいただければありがたいです。

(当日参加もOKですが、定員を超えた場合、申し込みいただいた方優先となります)

☆問い合わせ先☆

「学校で憲法を語るつどい」実行委員会

AND29170@nifty.com (裏面詳細)

「いま、何かせにゃあ」の声をあつめたい！

●当日プログラム(※時程等は、現時点での予定です)

- 17:00 開会、趣旨説明
17:15 第1回ポスターセッション
17:45 第2回ポスターセッション(休憩)
18:30 簡単にシェア
18:45 発題ミニシンポ「学校で憲法を語るということ～今こそ。現状&その意義～」
(仮題)
- ・杉浦真理(全民研(京都・高校教員))
 - ・佐藤功(コーディネーター兼ねる・大阪高生研(大阪・高校教員))
 - ・氏岡真弓(全国の動向を取材してのコメント・朝日新聞)
 - ・久保田貢(実践を総括してのコメント・教科研(愛知県立大))
- ほか
これを受けて全体討議 (19:30終了予定)

※ポスターセッション～にぎやかに。「憲法の授業まつり」です～

2010年に「貧困を教える伝える問題化する」をテーマに大阪高生研のほか、全生研KINKI、全民研、日司連、制度研所属の実践家が集まり、ポスターセッションを行いました。

会場の隅に各サークルが模造紙に要点を書き出し、プレゼン。質疑応答。各参加者は2テーマを任意に選び、聴講、質疑を行う。

初めてうかがう他団体の実践はたいへん刺激的であり旺盛な質疑応答がなされ、参加者、報告者とも満足度の高い集会でした。

今回、このときのイメージで、「学校で憲法を語る」実践をいくつも集め、ポスターセッションの形で共有します。

● 実行委員大募集——第1回実行委員会は7月15日(祝) 14:00より

場所:大阪・中崎町シネマ館 (天神橋筋6丁目駅・中崎町駅より徒歩5分)

<http://www.eizo-kiroku.com/cinema/placemarks/cinem/>

<第1部> 91歳もと海軍兵士からのメッセージ 瀧本邦慶(たきもと・くによし)さんが語り伝えるあのときの戦争、そして憲法。

<第2部> 「学校で憲法を語るつどい」詳細議論

問い合わせ・申し込み先

「学校で憲法を語るつどい」実行委員会 AND29170@nifty.com

会場定員と資料作成の都合上、参加申し込みいただければありがたいです。

(当日参加OKですが、定員を超えた場合、申し込みいただいた方優先となります)